

## 1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。9月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り（詳細は2022年11月号参照）。

### でん粉の需給見通し

#### 【令和3でん粉年度（見込み）】

需要量：242万3000トン（前年度比1.7%増）

供給量：244万5000トン（同0.9%増）

#### 【令和4でん粉年度（見通し）】

需要量：249万トン（同2.8%増）

供給量：250万2000トン（同2.3%増）

表1 でん粉の需給見通し

（単位：千トン）

		令和2でん粉年度 （実績）	令和3でん粉年度 （見込み）		令和4でん粉年度 （見通し）			
		計	10-3月	4-9月	計	10-3月	4-9月	計
需要	糖化製品	1,625	736	886	1,622	782	893	1,675
	化工でん粉	265	134	133	266	136	141	277
	その他（製紙用、ビール用、片栗粉など）	493	245	290	535	242	295	538
	合計	2,382			2,423			2,490
供給	前年度繰り越し	32			40			21
	国産いもでん粉（生産量）	186	171	—	171	186	—	186
	かんしょでん粉	21	21	—	21	27	—	27
	ばれいしょでん粉	165	150	—	150	159	—	159
	調整金 徴収 対象							
	コーンスターチ	2,048	944	1,133	2,078	983	1,148	2,130
	輸入でん粉 （糖化製品、化工でん粉用）	131	60	68	128	68	68	136
	輸入でん粉（その他用）	9	6	7	13	7	7	14
	小麦でん粉	15	8	8	16	8	8	16
	合計	2,422			2,445			2,502
	次年度繰り越し	40			21			12

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

		令和4年10月～令和5年3月 (見込み)			令和5年4月～9月 (見通し)			令和4でん粉年度計			
		かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計	
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	7	12	19	7	10	17	14	22	36
		化工でん粉	1	17	18	1	15	16	2	32	34
		その他	6	23	29	5	24	29	11	47	58
		小計	14	52	66	12	49	62	27	101	128
	その他の用途	0	29	29	0	38	38	0	67	67	
	計	14	81	96	12	87	99	27	168	195	
供給	前期からの繰り越し	4	18	21	16	95	112	4	18	21	
	生産量	27	159	186	0	0	0	27	159	186	
	計	31	176	207	16	95	112	31	176	207	
次期への繰り越し		16	95	112	4	9	12	4	9	12	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用餌料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

## 2. 輸入動向

### 【タピオカでん粉の輸入動向】

#### 10月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年10月のタピオカでん粉の輸入量は、6571トン（前年同月比39.6%減、前月比54.0%減）と、前年同月から大幅に減少した（図1）。

輸入先はタイ、ベトナム、台湾およびブラジルで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

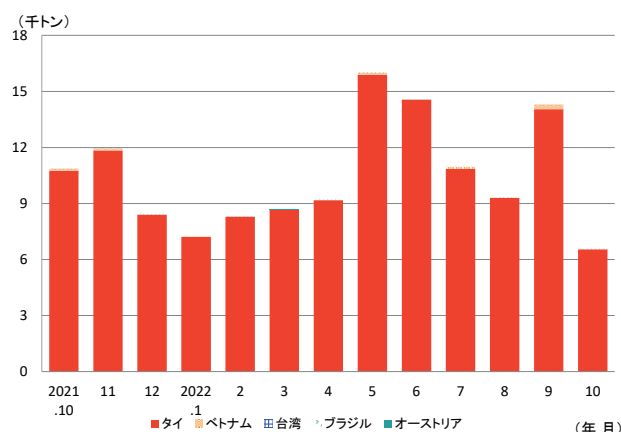
タイ 6551トン  
(前年同月比39.1%減、前月比53.4%減)

ベトナム 10トン  
(同91.2%減、同96.0%減)

台湾 8トン  
(同2.8倍、同2.2倍)

ブラジル 3トン  
(前年同月および前月輸入実績なし)

図1 タピオカでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

2022年10月の1トン当たりの輸入価格は、8万5264円（前年同月比55.0%高、前月比2.4%高）と、前年同月を大幅に上回った（図2）。

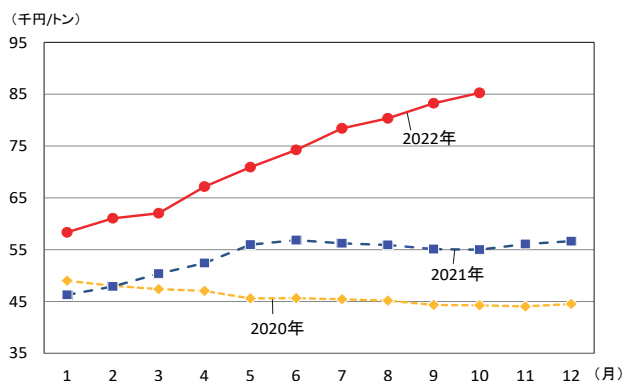
国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 8万4306円  
(前年同月比53.5%高、前月比1.3%高)

ベトナム 33万9744円  
(同5.5倍、同4.2倍)

台湾 49万4471円  
 (同2.9倍、同22.2%高)  
 ブラジル 33万4000円  
 (前年同月および前月輸入実績なし)

図2 タピオカでん粉の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

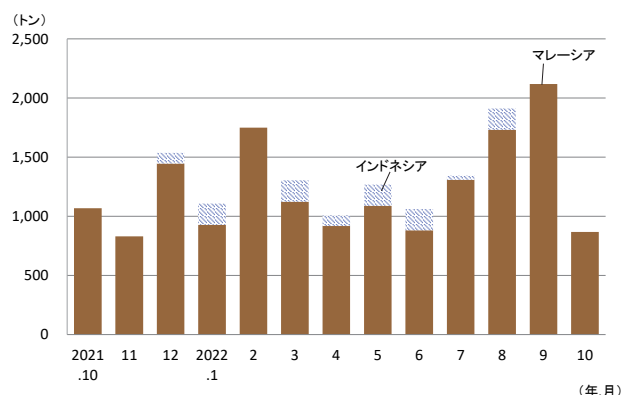
### 【サゴでん粉の輸入動向】

#### 10月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年10月のサゴでん粉の輸入量は、867トン（前年同月比18.8%減、前月比59.1%減）と、前年同月から大幅に減少した（図3）。

輸入先はマレーシアで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

図3 サゴでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

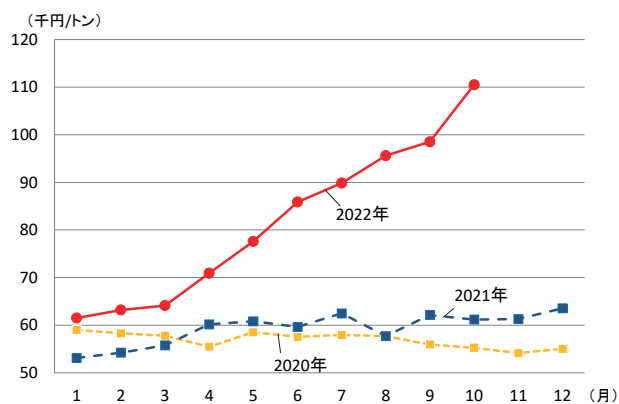
マレーシア 867トン  
 (前年同月比18.8%減、前月比59.1%減)

2022年10月の1トン当たりの輸入価格は、11万504円（前年同月比80.6%高、前月比12.2%高）と、前年同月を大幅に上回った（図4）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア 11万504円  
 (前年同月比80.6%高、前月比12.2%高)

図4 サゴでん粉の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、1108.19-018、1108.19-019

### 【ばれいしょでん粉の輸入動向】

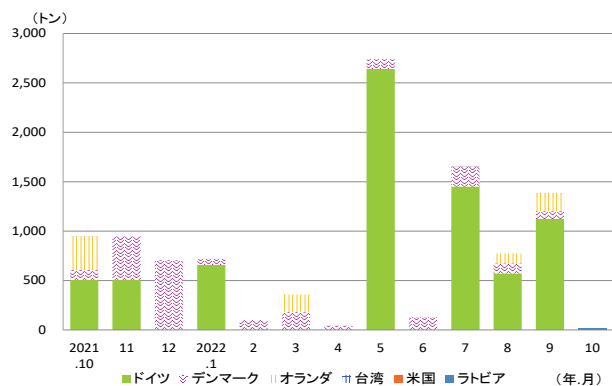
#### 10月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年10月のばれいしょでん粉の輸入量は20トン（前年同月比97.9%減、前月比98.6%減）と、前年同月から大幅に減少した（図5）。

輸入先はラトビアで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

ラトビア 20トン  
 (前年同月および前月輸入実績なし)

図5 ばれいしょでん粉の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

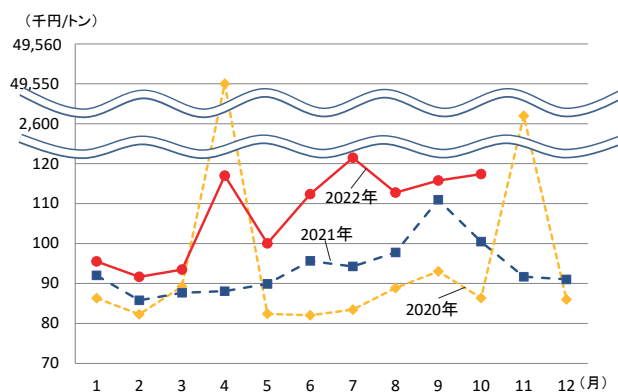
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2022年10月の1トン当たりの輸入価格は、11万7400円（前年同月比16.8%高、前月比1.4%高）と、前年同月を大幅に上回った（図6）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

ラトビア 11万7400円  
（前年同月および前月輸入実績なし）

図6 ばれいしょでん粉の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

### 【でん粉誘導体の輸入動向】

#### 10月の輸入量は前年同月からかなりの程度増加

財務省「貿易統計」によると、2022年10月のでん粉誘導体の輸入量は、3万4771トン（前年同月比10.1%増、前月比17.0%増）と、前年同月からかなりの程度増加した（図7）。

でん粉誘導体の輸入先は17カ国・地域で、最大の輸入先はタイであった。主要輸入先からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約7割を占めており、次いでベトナム、デンマークとなっている（表3）。

表3 でん粉誘導体の主要輸入先および輸入量（10月）

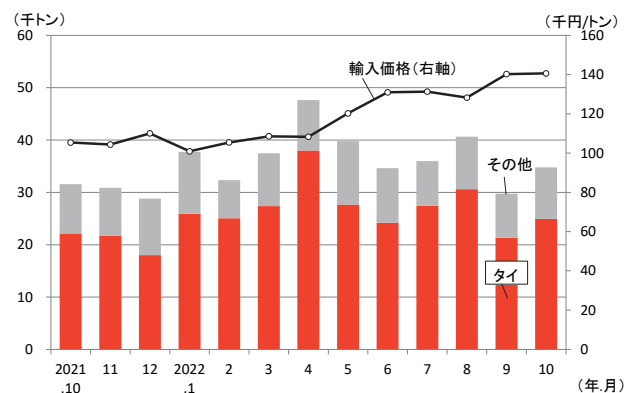
輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	34,771	100.0%
うち タイ	24,924	71.7%
ベトナム	2,325	6.7%
デンマーク	1,275	3.7%
ドイツ	1,119	3.2%
フランス	1,057	3.0%
豪州	934	2.7%

資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

2022年10月の1トン当たりの輸入価格は、14万610円（前年同月比33.4%高、前月比0.2%高）と、前年同月を大幅に上回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

### 【デキストリンの輸入動向】

#### 10月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2022年10月のデキストリンの輸入量は、887トン（前年同月比30.4%減、前月比34.0%減）と、前年同月から大幅に減少した（図8）。

デキストリンの輸入先は9カ国・地域で、輸入量は上位輸入先の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

上位輸入先からの輸入量は次の通りで、ベトナムおよびタイで輸入量の約7割を占めている（表4）。

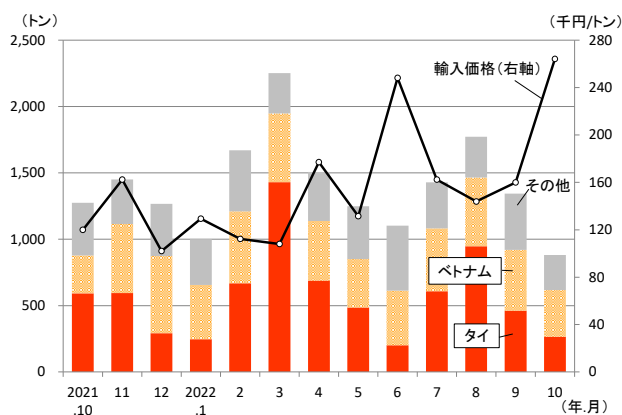
表4 デキストリンの主要輸入先および輸入量（10月）

輸入先国	輸入量（トン）	シェア
合計	887	100.0%
うち ベトナム	352	39.7%
タイ	265	29.9%
米国	101	11.4%
フランス	52	5.9%
ドイツ	34	3.8%
中国	30	3.4%

資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-200

2022年10月の1トン当たりの輸入価格は、26万4154円（前年同月比2.2倍、前月比65.1%高）と、前年同月を大幅に上回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード3505.10-200

### 【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】 10月の輸入量は前年同月からわずかに増加

財務省「貿易統計」によると、2022年10月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、16万4906トン（前年同月比2.2%増、前月比41.9%減）となり、前年同月からわずかに増加した（図9）。

輸入先は、米国、ブラジル、南アフリカおよびアルゼンチンで、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

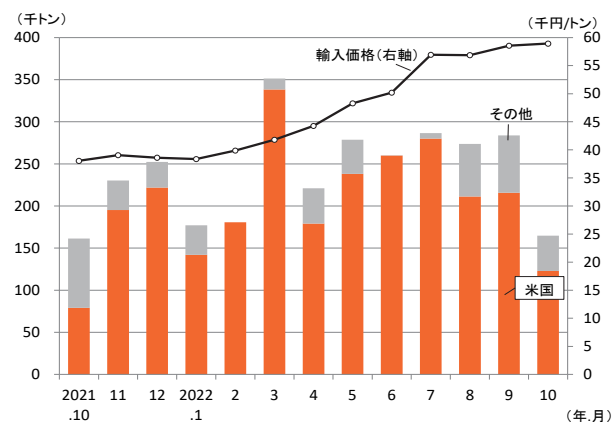
- 米国 12万2862トン  
（前年同月比55.4%増、前月比43.0%減）
- ブラジル 3万5506トン  
（同2.4倍、同7.9倍）
- 南アフリカ 3788トン  
（同94.4%減、同94.0%減）
- アルゼンチン 2750トン  
（前年同月および前月輸入実績なし）

2022年10月の1トン当たりの輸入価格は、5万8930円（前年同月比54.9%高、前月比0.6%高）と、前年同月を大幅に上回った。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

- 米国 5万9920円  
（前年同月比50.6%高、前月比0.4%高）
- ブラジル 5万5492円  
（同74.2%高、同12.0%高）
- 南アフリカ 5万7337円  
（同53.4%高、同3.7%高）
- アルゼンチン 6万1288円  
（前年同月および前月輸入実績なし）

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1005.90-091